

# 病院・水道事業の経営状況

平成21年度の企業会計決算概要をお知らせします！

## 病院事業会計決算

平成21年度の市民病院の患者数は入院が1日平均65人、外来は210人で、医業収益は約17億7千500万円となっています(表1参照)。

これに対する医業費用は、職員116人の給与や薬品費、光熱水費などが主な支出で約19億9千900万円となり、差し引きで約2億2千400万円の医業損失となりました(表2参照)。

・医業損失 2億2千399万円  
 ・経常損失 1億9千564万円  
 ・当年度純損失 1億9千794万円

平成21年度は、CTスキャナ及びX線一般撮影装置を更新するとともに、総合

【表1】市民病院患者数

入院	平成21年度	平成20年度	比較増減
総数	2万3,844人	2万5,712人	△1,868人
1日平均	65人	70人	△5人

外来	平成21年度	平成20年度	比較増減
総数	7万6,755人	7万5,999人	756人
1日平均	210人	208人	2人



情報システム(オーダーリングシステム)を導入しました。さらに、市民の健康面での安心・安全づくりに向け、特定健康診査や人間ドックと同時にがん検診が受診できるとともに、女性のがん検診受診率の向上をめざした環境に配慮した総合健診センターの業務を開始しました。

厳しい経営状況ではありますが、引き続き、志木市の街づくりのローガンである「健康・医療・福祉都市構想」の具現化を図るとともに、市民病院の今後のあり方も検討し、医療制度改革に対応した経営面での健全化に努めます。

問合せ/市民病院  
 ☎(472)9211

【表2】平成21年度病院事業損益計算書 (単位:万円)

①医業収益	17億7,526	
内訳	入院収益	9億4,371
	外来収益	4億9,160
	その他医業収益	3億3,995
②医業費用	19億9,925	
内訳	給与費	13億4,102
	材料費	2億0,848
	経費	3億8,271
	減価償却費	5,367
	資産減耗費	983
	研究研修費	354
医業損失(①-②)	2億2,399	
③医業外収益	7,549	
④医業外費用	4,714	
経常損失(医業損失-③+④)	1億9,564	
⑤特別利益	0	
⑥特別損失	230	
当年度純損失(経常損失-⑤+⑥)	1億9,794	
前年度繰越欠損金	3億3,012	
当年度未処理欠損金	5億2,806	

1万円未満の端数については調整しています。

平成21年度水道事業損益計算書 (単位:万円)

①営業収益	11億6,990	
内訳	給水収益(水道料金など)	10億0,188
	その他営業収益(加入金など)	1億6,802
②営業費用	10億8,497	
内訳	浄水場の維持管理費	4億7,974
	浄水場以外の施設維持管理費	1億2,494
	総係費(検針業務費用など)	1億1,853
	減価償却費	3億6,035
	資産減耗費	141
営業利益(①-②)	8,493	
③営業外収益	1,098	
内訳	受取利息及び配当金	1,037
	雑収益	61
④営業外費用	1億0,106	
内訳	支払利息など	1億0,106
経常損失(営業利益+③-④)	515	
⑤特別利益	5	
⑥特別損失	381	
当年度純損失(経常損失-⑤+⑥)	891	
前年度繰越欠損金	253	
当年度未処理欠損金	1,144	

1万円未満の端数については調整しています。

## 水道事業会計決算

約900万円の損失で2年連続の赤字経営となっています。事業収益 11億8千93万円 (主な収益) 給水収益(水道料金など) 10億188万円



また、1㎡あたりの水道水を生産するのに必要な費用は164円3銭、一方、販売価格は138円56銭となり、差引25円47銭の赤字が生じています。

問合せ/水道料金課 内線2713

・営業利益 8千493万円  
 ・経常損失 515万円  
 ・当年度純損失 891万円

・減価償却費など 3億6千176万円  
 ・総係費(コンビニエンスストアでの納入や検針業務などの水道料金関係費用) 1億1千853万円  
 ・浄水場以外の水道施設関係費用 1億2千494万円  
 ・浄水場の維持管理費 4億7千975万円

・そのほか営業収益(加入金など) 1億6千802万円  
 事業費用 11億8千985万円 (主な費用)